

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第127号 (通巻第194号)

---

2014年5月30日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

### ■教育実習に対する支援の試み

附属学校園での教育実習など前期の実習では学生達のがんばる姿を随所で見ることができました。そのような中、今年度より本センターでは、教育実習生に対する2つの支援を試行的に行うことになりました。一つは指導案や授業づくりの指導、もう一つはメンタルサポートのための実習生相談です。前期の教育実習から希望者を対象に行っています。本学の学生が充実した教育実習を行えるよう、引き続き支援を続けていきます。

#### ＜指導案や授業づくりの指導＞

- ・教育実習が始まる前の期間でCNSに期日を示し、自分が実習で担当する教科等の事前準備について指導助言を行います。後期も行う予定です。
- ・実践センターの実務家の教員が学生の指導助言を行います。

#### ＜メンタルサポートの為の実習生相談＞

- ・実習中に不適應を起こしてしまった学生などの相談を実践センターの専門家が相談を行います。
- ・期日は附属学校園の教育実習中を基本としますが、CNSに掲示して実施します。後期も行う予定です。

### ■「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」・教育相談室に関するお知らせ

相談スタッフを募集します。学部の先生方には、教師からの相談に応じていただきます。新しく着任された先生やまだ登録をされていない先生方は是非、ご協力をお願いします。新規登録や相談日時の変更等は教育実践総合センター事務室まで電話、メールなどでお申し出ください。

### ■教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室 (L-428)」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室 (J号館4F) にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出ししております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

## ■ 「平成26年度期間採用者等研修」の報告

平成26年度期間採用者等研修を、5月24日（土）に実施しました。当日は、小・中・高校の期間採用の先生方と学生合わせて123名が参加しました。

内容は教科に関する研修として、「児童・生徒をひきつける授業の工夫」に関する講義を小・中・高校の3部会に分かれて実施しました。（研修1）また、学級経営に関する研修として「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」に関する講義を同様に3部会に分かれて実施しました。（研修2）

この2つの研修では、授業を進める上でのポイントや児童生徒へのかかわり方のポイントなど、日常の授業や学級経営に役立つ内容について、県内でご活躍の現場の先生方から具体的なお話を伺うことができました。

午後の研修では、教職に関する特別研修として文章力（作文）と言語表現力（面接・集団討議・模擬授業）に関する「研修A」と、教職に役立つ教育法規・制度の知識に関する「研修B」を開催しました。

「研修A」については県内の期間採用者等で勤務されている49名の方の参加がありました。また「研修B」は学生の参加も含め43名の方の参加がありました。「研修A」は演習が行われ、真剣な表情で体験する受講者の姿が印象的でした。「研修B」では教育法規のポイントをわかりやすくお話しいただきました。



研修1：中学校部会の様子



研修2：小学校部会の様子

昨年度の反省として「特別研修A・B」の充実を求める参加者の要望がありました。そこで、今年は午前中に「教科に関する研修」と「学級経営に関する研修」の2つを行い、午後は「特別研修A・B」として時間をたっぷり確保するというプログラムとしました。参加者からは、充実した1日を過ごすことができました。どの研修も内容が充実していてとても参考になった。など前向きな評価をほとんどの方からいただきました。



集団討議のテーマについて考える受講者



模擬面接を受ける受講者

参考までに受講者のアンケート結果の一部を掲載します。

アンケート（期間採用者等研修を終えて） 107名が回答

1 あなたの所属は？

①小学校 47 ②中学校 28 ③高等学校 26 ④特別支援学校 2 ⑤学生 4 ⑥その他 0

2 研修を受けた校種は？

①小学校 43 ②中学校 29 ③高等学校 27 ④特別研修（A33・B33）

3 期間採用等の臨時的任用年数について教えてください。

①1～2年 83 ②3～5年 15 ③6～9年 3 ④10年以上 0

4 研修を何によって知りましたか？（複数回答可）

①所属校に送られた山梨大学からの文書 94 ②同僚等からの口コミ 9 ③山梨大学のホームページ 2  
④学校制度・経営論の授業 2 ⑤その他 1（校長先生からの紹介）

5 この研修を受講されるのは今回で何回目ですか？

①1回目 87 ②2回目 16 ③3回目 4 ④4回目以上 0

6 研修の内容はいかがでしたか？

（ア）研修1（参考になった97・どちらとも言えない3・あまり参考にならなかった0）

（イ）研修2（参考になった95・どちらとも言えない1・あまり参考にならなかった0）

（ウ）特別研修（参考になった69・どちらとも言えない3・あまり参考にならなかった0）

7 研修の時期として5月実施はどうでしたか。

①よい 101 ②よくない 4（希望する時期：3月下旬，6月上旬，7～8月 など）

8 今後研修で希望される内容を3つ選択してください。

①教科等の指導 60 ②学級経営 50 ③公務員の服務 2 ④生徒指導 63 ⑤教育相談 17  
⑥採用試験対策 66 ⑦グループ討議 28 ⑧ その他 0

## ■ 教育実習中の「模擬授業室」の様子について

教育実習中、遅くまで電気が付いていたり、土日の休みも利用して教材作りや模擬授業を行ったりと学生達の利活用が活発になってきました。附属小・中学校に参観に行ってみると、カラフルな色画用紙を使った教材や、発問時に提示する模造紙の短冊など努力の足跡を見ることもできました。

事前指導の際に、

- ・利用についてはあらかじめ予約をすること。
- ・消耗品の有効活用をすること。
- ・飲食はしない。使用後は整理整頓に心がける。

などの使用についてはお互いマナーを守ることをお願いしました。今後も整備を充実していきますので学生の皆様のご協力をお願いします。また、先生方からも御指導いただけますようお願いいたします。



小学校1年算数の教材



小学校5年算数の教材 1立方メートルの実物模型



教育実習研究授業の練習



指導案及び教材作成をする学生

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るができます。